

(公 印 省 略)
三人第 1 2 8 号
令和 6 年 1 1 月 1 日

各 区 長 様

男女共同参画センター所長 藤田 英子

情報誌「こらぼーよ 第 7 0 号 2 0 2 4 ・ 秋」について
(依頼)

晩秋の候、貴職にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、まちづくり地域活動の振興について、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、別添のとおり三木市男女共同参画センター情報誌「こらぼーよ 第 7 0 号 2 0 2 4 ・ 秋」をお届けいたします。

つきましては、誠に恐縮に存じますが、貴地区での回覧をお願い申し上げます。

記

- 1 送付物 ・ 三木市男女共同参画センター情報誌
「こらぼーよ 第 7 0 号 2 0 2 4 ・ 秋」
- 2 お届けの枚数 各地区の回覧枚数

【担当課】市民生活部 人権推進課
男女共同参画センター
(三木市立教育センター内)
TEL : 8 9 - 2 3 3 1

～市民がつくる～
三木市男女共同参画センター情報誌

こらぼよ

こらぼよとは
Collaboration
コラボレーション
(共同・協働)と
～しようよの組合せ

第70号
2024・秋

秋号のテーマ
ジェンダーって？



「ダイバーシティ&

インクルージョン」について



「ジェンダーギャップ指数」について



「セックス」について



「ジェンダー」について

令和6年度 弁護士による法律セミナー

～知らないと損!!～
働く人は守られています

講師:吉倉 美加子さん(弁護士)

日時:令和6年11月27日(水)

10時～11時30分

会場:三木市立教育センター
4階 中研修室

定員:会場40名 Zoom60名

申込:男女共同参画センター

☎0794-89-2331



11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。夫・パートナー等からの暴力、性犯罪、セクハラ、ストーーカー行為等、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するもので、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。



女性に対する
暴力根絶のための
シンボルマーク

Gender

ジェンダーは男性だから・女性だからと性別によって「こうあるべき」姿として、服装や髪形などのファッションから、言葉遣い、職業選択、家庭や職場での役割や責任の分担など人々の心の在り方や意識、コミュニケーションの仕方にもまで反映されます。

ジェンダーのつく言葉は他にもたくさんあります。ここではその一部を紹介します。



トランスジェンダー (Transgender)

身体的な性と、ジェンダーアイデンティティが違う人

ジェンダーアイデンティティ (Gender Identity)

自分の性別をどのように自覚しているか。女/男だと思う・どちらでもある/ない など

<ジェンダーの押し付けはやめて>

「自分自身を見つめなおしたい」との理由で無期限の活動休止宣言をしていた歌手の「氷川きよし」さんが今年5月に活動を再開されました。ジェンダーレスであることを告白された氷川さんにとって「演歌の貴公子」というイメージの押し付けがずっと苦しかったそうです。

多様化の時代、様々な考え方や生き方が受け入れられるようになって、氷川さんも「自分らしく」生きていこうと決心されたのですね。

ジェンダー平等 (Gender Equality)

一人ひとりの人間が性別にかかわらず、平等に責任や権利、機会を分かち合いあらゆる物事を一緒に決めることができること。

ジェンダーバイアス (Gender Bias)

男性は「青が好き、理系が得意」女性は「ピンクが好き、料理が得意」といった、無意識の偏見による男性像、女性像のこと。

ジェンダーフリー (Gender Free)

「男らしさ」「女らしさ」にとらわれず個人の能力を生かし、自由に生活をしようという考え方。「主夫」という生き方もそのひとつ。

ジェンダーレス (Gender Less)

ジェンダー(男女の社会的・文化的な区別)がないこと。

または性的な区別をなくそうとする考え方のこと。

Sex

生まれつきの生物学的な性差のこと。

具体的には生殖機能の違いで、妊娠出産や授乳ができるのは女性だけです。

また、男性ホルモン、女性ホルモンの量の差で、体毛や筋肉の量が異なり、外観にも違いが表れます。

ジェンダーロール (Gender Roles)

社会的、文化的に期待されている男女の役割。

「男性は外で仕事」「女性は家で家事・育児」など固定概念として、無意識に認識している性別による役割や行動。



「ジェンダーロール」が入れ替わったドラマ「大奥*」

将軍になるのは女性、大奥には男性が居る、武家の当主は女性などなど…。無意識に思い込んでいる男性の役割、女性の役割がこのドラマの中ではひっくり返ります。

社会的な立場が変わることで、男性だから、女性だから「こう」って決めつけていることも変わるんですね。「性別役割分担」を考え直してみるには面白い作品です。

*大奥：よしながふみ原作 NHK総合で2023年に放送されたドラマ

編集委員：I



男女格差指数

Gender Gap Index (GGI)

ジェンダーギャップ指数

世界経済フォーラム(WEF)が毎年公表している、男女格差を測る指数のひとつです。

この指数は、国や地域ごとのジェンダー平等度合いを評価しており、「経済」「教育」「健康」「政治」の4つの分野から算出されています。

では、なぜ「世界経済フォーラム」がジェンダーギャップ指数の統計を取り、男女間の不平等を是正するための取組をしているのでしょうか。

それは「ジェンダー平等が経済の成長に密接に関わっている」とされているからです。

2024(令和6)年の6月に発表された最新のデータによると、日本は「教育」と「健康」は世界でもトップクラスですが、「政治」と「経済」の分野では女性の進出が大きく出遅れています。男女が平等に教育を受け、それぞれが希望する仕事に就くことで、社会全体の労働力が最大限に活用され、経済の成長につながります。

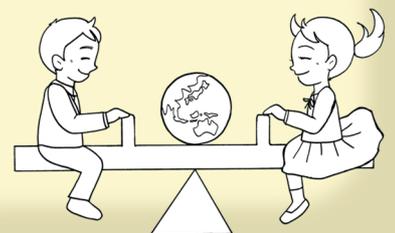
仕事も家事・育児も夫婦で助け合うことや、企業による「女性のキャリア形成の支援」は「経済」のジェンダーギャップを解消する第一歩になるのではないのでしょうか。

また、内閣府が平成28年度に行った調査*によると日本で女性議員が少ない原因は『政治は男性が行うものという固定的な考え方が強い』との回答が6割を占めたそうです。

まずは私たち一人ひとりの意識改革と仕事と家事・育児を分担できるように夫婦・家族で話し合うことが大切です。

編集委員：O

*政治分野における男女共同参画の推進に向けた地方議会議員に関する研究報告書

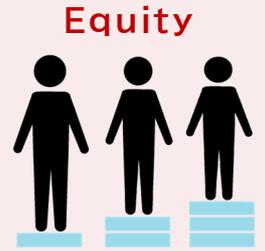


Diversity&Inclusion (D&I)

性別、年齢、国籍などが異なる多様な人々に、その違いを認め尊重し合い、それぞれの個性や能力に応じて活躍できる場を整えようという考え方。

D&Iの考え方に**エクイティ(公平性)**をプラスした**DE&I**という概念も広まっており、企業・自治体でも、課題解決に向けての取組が進められています。

個々の個性を理解し、認めることの大切さや、無意識の偏見について正しく理解するなど、人権を尊重しそれぞれの人に合ったサポートを工夫し、多様な人々全てに活躍の機会を用意しようという考え方です。



日本は、1990年代まで、「男は仕事、女は家庭」「男性がリーダー、女性がサポート役」という、性別役割分業と男性中心の社会のもとで、目覚ましい経済発展を遂げてきました。

しかし、その後の社会情勢の変化(少子高齢化等)により、労働力の中心であった若い男性が減少し、労働力の減少を補うために2010年代に入って女性の社会進出が顕著に求められるようになりました。

また、障がいのある人や高齢者、外国にルーツのある人も様々な分野で活躍する時代です。

今こそ、一人ひとりの個性や多様性を尊重し、社会・地域において、共存・共栄を考える必要があるのではないのでしょうか。

誰もが不自由のない世の中をつくるために、今を生きる意味を考え、みんなの心を合わせて、持続可能な明るい未来を実現したいと願います。



編集委員：T

***** 今後の男女共同参画センター主催の講座 ※要:事前申込 *****

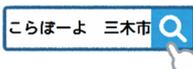
テーマ	講師	日時	会場
女性のための 出前チャレンジ相談	飯鉢 仁弥さん	12月6日(金) 9:00~11:50	三木市立教育センター
女のものさし・男の定規	黒崎 輝美さん	令和7年1月21日(火) 13:30~15:00	中央公民館
それってアウトかも? 知らず知らずのうちにやっていますか?	遠矢 家永子さん	令和7年2月1日(土) 10:00~11:30	青山公民館



三木市福井 1933-12 教育センター3階
TEL:0794-89-2331 FAX:0794-82-8120
開館日時:月曜~金曜 9時~17時(祝日を除く)

三木市男女共同参画センター
愛称:こらぼーよ

ホームページからも
ご覧いただけます



企画・編集:情報誌こらぼーよ編集グループ
発行:三木市男女共同参画センター

編集後記

秋号のテーマは「最近メディアによくでてくるけど、意味がよく分からない…」そんな男女共同参画に関する横文字言葉の解説特集です。他にも男女共同参画センターのホームページにはこんな横文字言葉のページがあります。

◎LGBTQ+についての
解説はこちら⇒



◎パートナーシップ制度についての
解説はこちら⇒
ぜひ、ご覧ください。

